

◆◆ 日中社会学叢書 ◆◆

グローバル化と東アジア社会の新構想

日中社会学会と中日社会学会が協力し、中国を素材に世界史的潮流をにらんだ、東アジアにおける新たな社会構想の提示をめざす研究叢書。従来、難しかった調査データによる実証研究によって構成され、中国の将来的展望はもとより、日中の相互理解と協力関係を見据えながら、「中国社会研究」のスタンダード構築を目標とする。

◆◆ 既刊 2 点 (全 7 巻) ◆◆ ————— 【監修】中村則弘、袖井孝子、永野 武

1 脱オリエンタリズムと中国文化——新たな社会の構想を求めて

【編著】中村則弘 ◎ 3,000 円

4 分岐する現代中国家族——個人と家族の再編成

【編著】首藤明和・落合恵美子・小林一穂 ◎ 4,300 円

以下続刊

- | | |
|--|---|
| 2 チャイニーズネスとトランスナショナルアイデンティティ
【編著】永野武 2008年8月刊行予定 | 6 中国における住民組織の再編と自治への模索
——地域自治の存立基盤
【編著】黒田由彦・南裕子 2008年7月刊行予定 |
| 3 グローバル化における中国のメディアと産業
——情報社会の形成と企業改革
【編著】石井健一・唐燕霞 2008年6月刊行予定 | 7 移動する人々と中国にみる多元的社会
——史的展開と問題状況
【編著】根橋正一・東美晴 2008年9月刊行予定 |
| 5 転換期中国における社会保障と社会福祉
【編著】袖井孝子・陳立行 2008年4月刊行予定 | |